

平成30年度 研修委員会

活動報告

〈活動目的〉

社会における障害者関連の記事や、障害特性、障害支援・指導方法等の参考資料を読むことで、職員が日々行う支援・指導の方法を再度確認してもらう

そして職員が共通理解を持ち、より仕事に対する意識や質を高め、良い支援・指導の実践に繋がっていくこと

〈活動内容〉

◎掲示板の作成 及び ファイルの回覧

- ・障害者支援・指導の参考となる資料を掲載

◎職員向けアンケート調査(計2回)

- ①掲示方法、掲載記事について(7月実施)
- ②掲載記事を読んだ感想、今後の支援にどう活かすか
(1月実施)

掲示板



回覧ファイル



〈掲載記事の内容〉

◎新聞記事

- ・子どもの褒め方アドバイス
- ・発達障害者支援拡大について
- ・特別支援学校の運動部の実態について
- ・自閉症の方との向き合い方について
- ・やまゆり園の事件の遺族の話 他

◎インターネット記事

- ・強度行動障害について
- ・ADHD, 統合失調症について 他

◎書籍

- ・『自閉症の僕が跳び跳ねる理由』 著者: 栗田直樹
- ・『人の2倍ほめる本』 著者: 渋谷昌三
- ・『発達障害の子の「励まし方」がわかる本』 監修: 有光興記 他

〈アンケート結果〉

◎掲示板又はファイルの記事を読んで思った事、感じた事

- ・意識的に気になる分野の記事を読むようになった
- ・個人でも努力して情報収集していきたいと思った
- ・肯定的な声かけ、褒めることなどを中心にした記事で共感を得た。私生活を含め良い刺激を与えてくれた
- ・障害者＝不幸ではなく自然に受け入れられるような関係作り。共に楽しく生活していけるような社会になればよいと思った
- ・褒める、良い所に気付くことの大切さ

◎思った事、感じた事をどのように業務、支援に活かしたか？また今後どのように活かしていきたいか？

- ・いつも通りにできた事でも必ず褒める。いつも以上にできた時には手を叩いて喜びを表現する。
- ・誤った指導や支援が強度行動障害へのきっかけ、原因となることを自覚し、発達成長に繋がる支援、指導を心掛ける
- ・褒めるということを一番気にするようになった。気持ちに寄り添い1つの行動から何を訴えたいのか見るようにする
- ・褒めて、褒めて、褒めつくす。いつも笑顔で接する。

〈まとめ〉

- 2週間に1度記事の内容を替えたことで、多くの資料を掲載できた
- ファイルを回覧し全職員に読んでもらうことができた
- 掲示板が職員の自主的な情報収集のきっかけになった

〈成果〉

- アンケート調査により、職員の意識の向上が確認できた
- 掲示板に掲載した記事をきっかけに自主的に学ぶ姿勢が増えてきた
- 職員が共通理解を持ち、支援の方向性を見い出せた

〈次年度へ向けて〉

- 掲示板の継続

記事内容は簡潔で読みやすくし、全職員で作る
掲示板にしていきたい

- 職員間のコミュニケーションを取る

外部研修や様々な経験談の中から新しい情報や
気づきを職員間で伝えあえる場を充実させ、今後
のより良い支援・指導に繋げていきたい